



渋川市社協ボランティアセンター

こもれび

〒377-0008 渋川市渋川1760-1 渋川ほっとプラザ2階
TEL 0279-20-1112 FAX 0279-25-1721
URL <http://www.shibukawa-csw.or.jp/>



重要!

『ボランティアの日事業』中止のお知らせ

令和2年10月25日（日）渋川ほっとプラザにおいて開催を予定しておりました「ボランティアの日事業」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、不特定多数の方が屋内外において、長時間に渡り同じ場所に集まる状況は現況では避けなくてはならないため、今年度は中止いたします。

また、次年度以降の「ボランティアの日事業」の在り方につきましては、より良きイベントになるよう今後内容を検討してまいります。

急なご連絡となりご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

お問合せ

渋川市社協ボランティアセンター『こもれび』

TEL 20-1112 担当：山岡



重要!

今後のボランティア活動の再開に向けて

群馬県では、6月13日に新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う「社会経済活動再開に向けたガイドライン」の警戒度が「1」に引き下げられました。これにより、高齢者や基礎疾患のある方も社会交流が可能となりました。

しかし、今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止を常に意識し、3密を避けるなどの「新しい生活様式の実践」を徹底する必要があります。

先の見通しが立たないなかで、今後も長期的な視野を持ちボランティア活動の在り方そのものについて考えていかなければなりません。

下記にほんの一例ですが、「今後のボランティア活動の実践」についてまとめました。「これを読めばすべてうまくいく」というわけではありませんが、これからできることのヒントにしていいただければ幸いです。

①自分の暮らしを第一に

・ご自身やご家族の暮らしを第一に、健康管理や感染防止に十分留意しながら、無理をしないことを原則に。

②活動への配慮

・活動前の検温や活動時のマスク着用、手指の消毒、感染予防チェックシートの活用、室内の定期的な換気、手に触れるものの消毒やソーシャルディスタンス等を習慣化する。
・ご自身や支援する方の健康状態、活動場所の状況（会場レイアウト等）を事前に把握し活動の同意を取る。

③活動の工夫を考える

・直接の面会を避ける代わりに郵便受けを活用し、手紙やノートの交換といった活動を行う。
・ICT（通信技術を使って人とインターネット、人と人とが繋がる技術）を活用して、コミュニケーション（つながり）方法を工夫する。（携帯電話やインターネットの利用）

④SOSが出しやすい空気の醸成（相談しやすい雰囲気づくり）

・このような状況下で、心理的・身体的ストレスから心身ともダメージを受けている方もいると思います。困っているというSOSが出にくい状況も考えられます。ひとりで考え込まずに、家族や親しい友人、各種相談機関等へ相談することも大切です。

本会ボランティアセンターではボランティアに関する相談はいつでもお受けいたします。

※参考資料

大阪市社会福祉協議会「集まれなくてもつながる方法」

大阪ボランティア協会「新型コロナウイルスの影響下での市民活動に関するメッセージ」

日本ボランティアコーディネーター協会「新型コロナウイルスの感染拡大を受けて」